

新たな栄養評価法の導入による栄養改善推進事業

【令和2年度予算概算決定額 24（24）百万円】

<対策のポイント>

国際生物多様性センター（Bioversity International）への資金拠出により、**アフリカの慢性的な栄養不良を改善するための新たな栄養評価法の開発及び栄養改善指導**を支援します。

<政策目標>

アフリカの食習慣・食文化に適応した栄養評価法を開発し、アフリカで調査・分析した結果を公表
（ケニア・タンザニアの2か国における3つの農村地域での調査・分析結果を公表〔令和3年度まで〕）

<事業の内容>

アフリカの農村の慢性的な栄養不良を改善するため、国際生物多様性センター（Bioversity International）への拠出により、ケニアやタンザニアにおいて**地域農作物の栄養成分の分析**を行い、ICT技術を活用した地域の生活習慣や食文化に則した**新たな栄養評価法を開発**します。これにより、**不足栄養素を特定し、補完するための栄養改善指導等**の取組を支援します。

また、我が国の民間企業と連携し、地域の農産物を活用した加工品の開発・販売を行い、農村部の収入改善に貢献します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

期待される効果

- 農村における不足栄養素の特定、効率的な栄養改善指導の実施の**スキームをマニュアル化**。
- 当該スキームを**他の栄養不良環境へ展開**。
- 地域農産物を活用した加工食品の開発・販売による**農村の収入改善、日系企業の参入促進**。

事業内容

- アフリカの实情に適合したICTツールを活用した**栄養評価法（アプリ）の開発、その評価法を活用した栄養改善指導等**。
- 地域農産物の**栄養成分及び機能性の評価・分析**。
- 地域農産物を活用した**加工食品の開発・販売**。

課題・背景

- 識字率が低いこと、家族単位の大皿で食事が準備されるため個人のお膳が回収できないこと、年間を通じ、食べ物の種類が多様で異なること等のため、**従来の調査法では栄養評価が適切に行えない**。
- アフリカは新たな**市場として有望**だが、不足している栄養素など**現場ニーズが不明確**。



タブレットにインストールしたアプリを通じて、栄養指導を受けている様子。

【お問い合わせ先】（1）大臣官房海外投資・協力グループ （03-3502-5913）
（2）農林水産技術会議事務局国際研究官 （03-3502-7466）